

一般質問



まちづくりに 若者の声を!発想を!



無党派 ● 中土 翔太 議員

若者のまちづくりへの参画について

問 市の取り組みは。

答 従来の事業(政策アカデミー・JK課等)を再構築し、令和3年度からは継続性を確保した事業を実施予定です。

問 過去の事業に参画した大学生などの関係は継続しているのか。

答 事業後の調査はできていないため、今後に関係が継続するように事業を行います。



▲実際に市の事業となった提案も

SNS等を用いた若者への情報発信について

問 若者へリーチしているのか検証が必要。効果測定は。

答 効果測定はできていません。

選挙と若者について

問 現状と見解は。

答 投票率は低迷しています。環境整備だけでなく、自分のまちをどうしていきたいかという意識の醸成が必要と考えます。



市人口の1/3は次世代を担う10~30歳代の若者

高校普通科「地域探求学科」新設について

問 市の見解は。

答 教育委員会としては設置の要望は考えていませんが、県が市内に設置する場合、協力は惜しみません。

設置要望について

問 市として政策的に検討を。市長部局の見解は。

答 教育部局で連携して考えていきます。

子どもの医療費無料化の 早期実現を求める!



令和会 ● 藤川 みゆき 議員

問 令和2年12月議会では「公約の中で最優先で実施する」「令和3年度途中からでも行う」との答弁だったの

で、市長の思いとしては実現したい意思をお持ちですし、平成29年9月議会では無償化を求める決議が議員全員賛成で可決されています。なのに、進まない理由は何でしょうか。

答 一丸となって取り組んで行く意思統一をしている所です。厳しい財政状況であっても財源を確保し、まずは条例改正、システム環境を整え、計画的に進めて行き、準備ができてから、実施していきます。

問 12月議会から数か月経って、どこまで進んだのか。進んでいないのであれば、何が妨げになるでしょうか。

答 経常的な経費とな

ることから令和3年度の予算編成は見送った経緯があります。

問 コロナ禍でも守山市は令和2年10月から野洲市は令和3年4月から実施できるよう進めています。台所事情は市町村によって多少差はありますが、新型コロナウイルス感染症の影響で財政の目途が立たないのは、湖南市に限るものではないでしょうか。実現に二の足を踏んでいる理由は。

答 システム改修など技術的な調整も遅れています。湖南市は「子ども対応にシフトする」という意思で、この事業を進めます。まずは、6月議会で条例改正から始めます。

